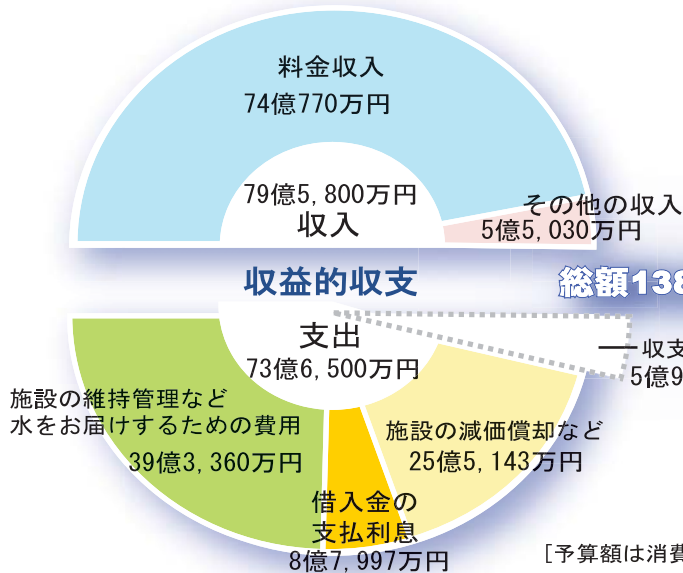


# 平成20年度 水道事業会計予算

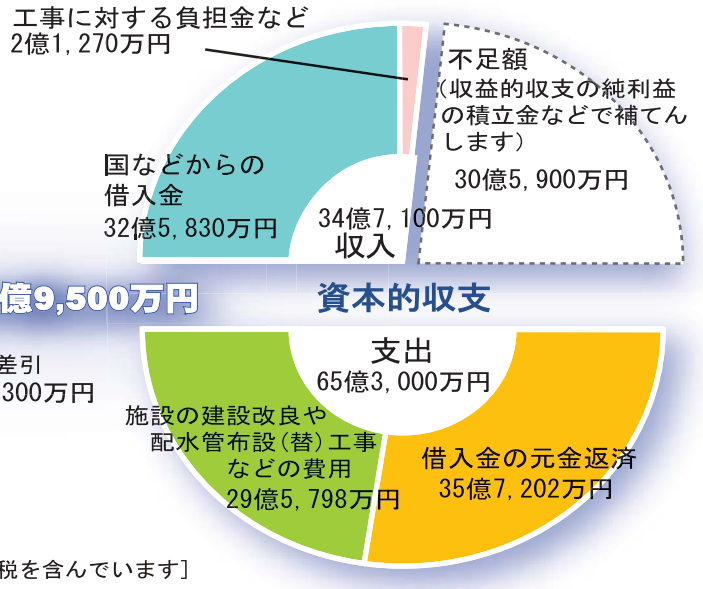
平成20年度の予算と主な事業についてお知らせします。

本年度も効率的な事業運営で、着実に事業を推進しつつ、適切な維持管理で、安全でおいしい水を安定してお届けします。

## ご家庭に給水するための収入支出



## 水道施設を整備・拡充するための収入支出



## 概要

平成20年度の水道料金収入は、合併により旧春野町分が加わりましたが、一人あたりの使用水量の減少傾向が依然続く見込みから、前年度当初予算と比較して3,810万円減少する見通しとなっています。

収益的支出予算、資本的支出予算を合わせた予算規模は、企業債支払利息や人件費などの減少する一方、送水幹線二重化事業や繰上償還による企業債償還元金の増加により、前年度当初予算に比べ16.2%、金額にして19億3,800万円増の総額138億9,500万円となっています。

## 主な事業

■送配水施設整備事業 4億2,350万円  
土地区画整理事業に伴う配水管布設などを7,145mおこないます。

■漏水防止対策事業 10億4,690万円  
無ライニング铸铁管の布設替(11,075m)や漏水調査(900km)などをおこないます。



■災害対策費 7億9,605万円

送水幹線二重化工事(1工区)、非常用貯水槽設置(17基目)、災害対策用資機材備蓄倉庫建築(2か所目)、鏡川水道橋耐震補強工事(右岸側)など災害対策をおこないます。



■増補改良事業 11億2,380万円

平成17年度から5年間の継続事業である旭浄水場(浄水施設)更新工事、針木浄水場施設整備など施設の整備、配水管布設替・移設等の配水管整備をおこないます。

■水源地域対策事業 2,968万円

水源かん養林取得、水源かん養林間伐。水のふるさとフェスティバルなどの水源地域との交流事業をおこないます。



## 「公的資金補償金免除繰上償還」により将来負担の軽減を図ります。

「公的資金補償金免除繰上償還」とは、過去に国など公的機関から借りた、年利5%以上の高利率の地方債を、繰り上げて返済、または低利なものに借り換えて、将来負担の軽減(公債費の低減)を図るものです。通常、繰上償還する場合、補償

金(途中解約による違約金のようなもの)を支払うこととなりますが、平成19年度から平成21年度までの臨時特例措置として、行政改革や事業見直しなどを含めた健全化計画の策定による相当の効果を前提に、この補償金が免除されます。

「公的資金補償金免除繰上償還に伴う財政健全化計画」等は、水道局のホームページで公表しています。